

令和6年度 島根県学力調査結果及び分析

松江市立本庄小学校

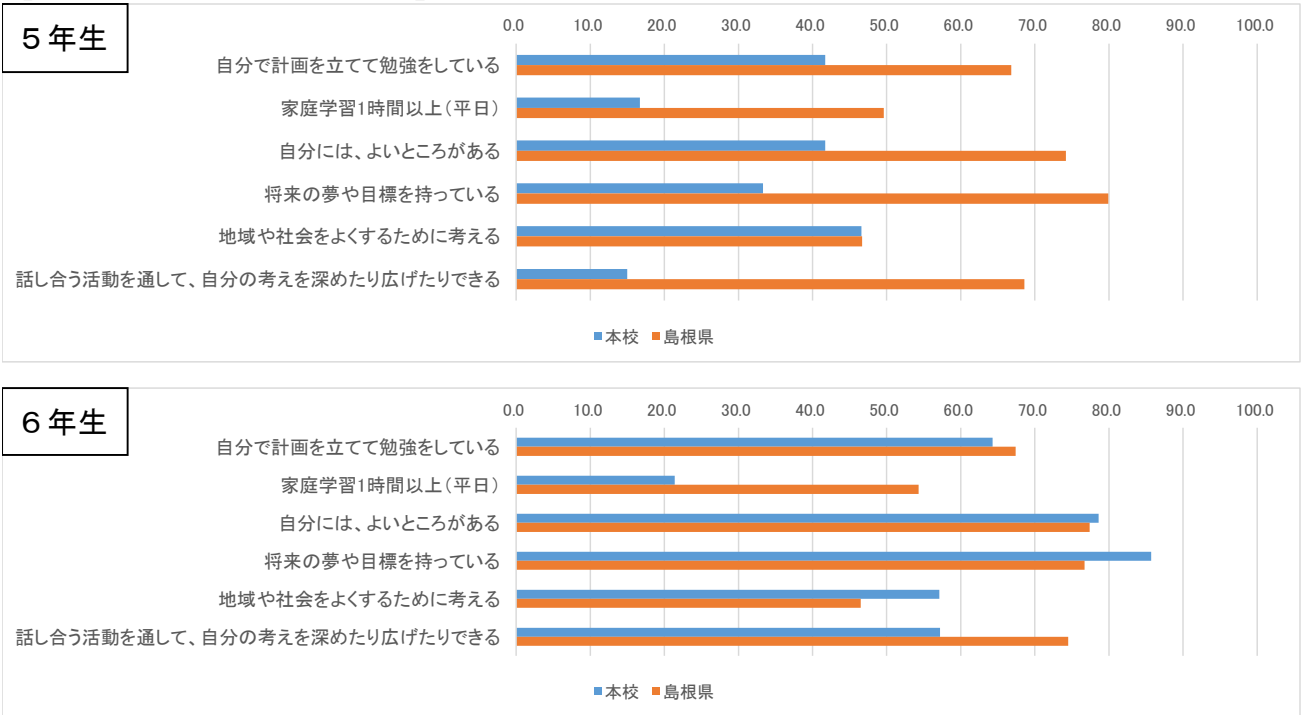
【1】「教科に関する調査」結果から見られた成果と課題（○成果／●課題）

	5年生	6年生
国語	○「内容を聞き取る」「漢字を読む・書く」「内容を読み取る」の項目で、県・全国平均をやや上回る正答率となっている。校内での日々の取組（書き取り会・毎日の課題）の成果が表れていると考えられる。 ●「文章を書く」の項目で、県・全国平均よりも低い正答率となっており、今後の課題としてあげられる。	○「漢字を読む」「文章を書く」の項目で、県・全国平均よりも高い正答率となっている。校内での日々の取組（書き取り会・作文指導）の成果が表れていると考えられる。 ●「内容を聞き取る」「言葉の学習」の項目で、県・全国平均よりも低い正答率となっており、今後の課題としてあげられる。
算数	○「合同」の項目で、県・全国平均よりも高い正答率となっている。校内での取組（計算会や毎日の課題）の成果が表れていると考えられる。 ●「整数のなかま分け」「分数のたし算・ひき算」「平均」の項目で、県・全国平均よりも低い正答率となっており、今後の課題としてあげられる。	○「対象な形」の項目で、県・全国平均よりも高い正答率となっている。校内での取組（計算会や毎日の課題）の成果が表れていると考えられる。 ●「拡大図と縮図」「面積と体積」の項目で、県・全国平均よりも低い正答率となっており、今後の課題としてあげられる。

【2】「意識調査」結果から見られた成果と課題（○成果／●課題）

	5年生	6年生
意識	○「夕食をきちんと食べている」「行きます・ただいまなどの挨拶をしている」の項目では、100%の数値を記録している。これまでの学校と家庭とが連携した取組の成果と考えられる。 ●「朝は、自分で時間を決めて・自分で起きている」「夜は、時刻を決めて寝ている」「自分で時間を決めてテレビを見ている」の数値が低い。これまで以上に、学校と家庭との連携を強化（にこにこ生活チャレンジ週間の徹底等）していくことが今後の課題としてあげられる。 ●家庭学習の時間が短いので、課題の出し方の工夫・改善が必要である。	○「夕食をきちんと食べる」「学校では、先生に挨拶をしている」「学校での出来事を、家の人に話している。」「行きます・ただいまなどの挨拶をしている」の項目では、100%の数値を記録している。これまでの学校と家庭とが連携した取組の成果と考えられる。 ●「新聞記事を読んでいる」「図書館を利用している」の項目の数値が低い。読書時間が延びるように、図書館活用教育のさらなる充実を図る必要がある。 ●家庭学習の時間が短いので、課題の出し方の工夫・改善が必要である。

【3】「意識調査に関するデータ」（教育委員会として注目している項目のうち全国調査と同様の質問項目を挙げています）



【R6学力調査受検者数】

5年生

12

名

6年生

14

名

(欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は最少の受検者数をもって表示)